

第10回生体医工学サマースクール概要

近代西洋医学は誕生してから約1世紀半が経過しました。これに対して、医療機器の開発・普及は半世紀にも満たないですが、現代医療を实践する上で医療機器は不可欠になっています。加えて、ライフサイエンス分野における光技術は著しく発達しています。国民医療費は既に37兆円を超え、2060年には高齢化率40%と予測される社会的背景から、放射線被曝がない、装置が小型で操作が簡便などの特徴を持つレーザー・光を用いた診断・治療は、日本発の革新的な医療機器の創出を含めたライフイノベーションの推進に寄与すると考えられています。

これらの背景より、本サマースクールのテーマを「レーザー・光を用いた最先端研究」としました。実習ではレーザーを用いた治療と診断の一端を実体験し、基調講演では医工連携を实践する医師であるお二人の先生にお願いしました。その開催主旨ですが、その最大の特長は、1)この分野の研究者あるいは研究者を目指す若い人を対象とする、2)受講者を少人数に限る、3)最先端研究に関する実習に加えて、医工連携を实践している医師による基調講演の3点です。

皆さんへのお願いは、受け身にはならず積極的に参加して、研究の面白さと醍醐味を実感してください。

テーマ	レーザー・光を用いた最先端研究
実行委員長	防衛医科大学校医用工学講座 石原美弥
実施期間	2013年8月6日(火)～8日(木)
実施場所	新狭山ホテル(埼玉県狭山市新狭山3-9-2)等
内容	実習1 レーザーを用いた細胞治療 実習2 レーザーを用いた医用断層イメージング 基調講演 医師による医工連携の实践 1. 守本祐司准教授(防衛医科大学校分子生体制御学講座) 2. 佐藤正人教授(東海大学医学部外科学系整形外科学)
参加費	学生15,000円、一般20,000円
定員	20名
主催	日本生体医工学会
共催	電気学会 電子・情報・システム部門 医用生体工学技術委員会 日本生体医工学会 関東支部 日本機械学会 バイオエンジニアリング部門 計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門 生体・生理工学部会 IEEE EMBS West Japan Chapter

スケジュール(予定) 別紙のとおり

申込先 防衛医科大学校医用工学講座 大川晋平
okawa@ndmc.ac.jp